

秋葉区の学び2026
不連続講座

「いまさら聞けない坂口安吾」
初心者のための入門講座を開催します

郷土の歴史や文化、人物について学ぶ講座「秋葉区の学び」。今年は生誕120年のメモリアルイヤーに合わせ、坂口安吾(1906～55)のビギナー向け講座として開催します。タイトルの「不連続講座」は、安吾の推理小説「不連続殺人事件」になぞられました。

戦前戦後を通じてブレない考えと、人間の本質を見つめた姿勢は、閉塞感や生きづらさの中で生きる現代人の道しるべにもなっています。

秋葉区ゆかりの作家 坂口安吾の作品と生き方を、新津の地でやさしく紐解く講座「いまさら聞けない坂口安吾」について、広報にご協力をお願いします。

<講座内容>いずれか1回のみの参加も可能(時間は各回とも 13:30～15:30)

回	期日	テーマ・内容	講師
1	9/19 (土)	「はじめての坂口安吾」 新潟市の西大畑から東京、桐生など各地で活躍し、今は秋葉区大安寺の坂口家の墓所に眠る坂口安吾の基礎講座。新潟県人物小伝『坂口安吾』から紐解く新津スペシャル	一般社団法人安吾顕彰会 学芸員 岩田 多佳子さん
2	10/3 (土)	「これが私の生きる道～評論編」 「墮落論」「安吾巷談」「安吾新日本地理」などの評論やルポルタージュを題材に、人間の本質を見つめる安吾の考え方や生き方を学びます。	元 新潟日報編集委員 永田 幸男さん
3	11/7 (土)	「これが私の生きる道～小説編」 「風と光と二十歳の私と」、「石の思い」や「いずこへ」などの小説を題材に、今なお多くのファンを惹きつけてやまない安吾の魅力・生き様を探ります。	フリーライター 本間 大樹さん

- 会場 新津地域学園(新潟市秋葉区新津東町2-5-6)
- 対象 どなたでも
- 定員 会場受講、オンライン受講 各50名(先着順)
- 参加費 無料
- 申込方法 インターネットまたは電話(別紙チラシのとおり)



ホームページ
二次元コード



AKIHAKU, KOUJINKAN
Instagram



坂口家墓所(秋葉区大安寺)

《お問い合わせ先》

新潟市新津地区公民館 担当:森山、佐藤
電話:0250-22-9666 FAX:0250-22-9616
電子メール:niitsu.co@city.niigata.lg.jp

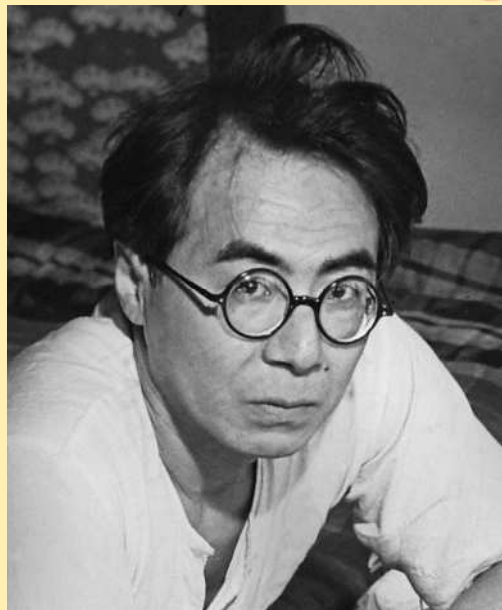


1906-2026
坂口安吾
生誕祭
120

秋葉区の学び2026
不連続講座

いまさら 聞けない、 坂口安吾

初心者のための入門講座



撮影：林忠彦 資料提供：新潟市「安吾 風の館」事業室

第二次大戦前から戦後にかけて活躍した作家 坂口安吾(1906～1955)。

新潟市の西大畑に生まれ、その48年の短い生涯の間に、純文学からミステリや歴史小説、随筆・評論まで多彩な作品を世に送り出し、今は秋葉区大安寺の坂口家墓所に眠っています。

戦前戦後を通じてブレない考えと、人間の本質を見つめた姿勢は、閉塞感や生きづらさの中で生きる現代人の道しるべにもなっています。

秋葉区ゆかりの作家 坂口安吾の作品と生き方を、新津の地でやさしく紐解きます。

全 3 回

1回のみ参加も可

参加費無料

著書を読んでいなくてもOK

会場・オンライン

会場受講またはZoom配信あり

講座内容

第1回

9/19 (土)
13:30 ▶ 15:30

「はじめての坂口安吾」

新潟市西大畑から東京、桐生など各地で活躍し、今は秋葉区大安寺の坂口家墓所に眠る坂口安吾の基礎講座。新潟県人物小伝『坂口安吾』から紐解く新津スペシャル。

講師

(一社)安吾顕彰会 学芸員
岩田 多佳子さん

第2回

10/3 (土)
13:30 ▶ 15:30

「これが私の生きる道～評論編」

「墮落論」「安吾巷談」「安吾新日本地理」などの評論やルポルタージュを題材に、人間の本質を見つめる安吾の考え方や生き方を学びます。

講師

元 新潟日報編集委員
永田 幸男さん

第3回

11/7 (土)
13:30 ▶ 15:30

「これが私の生きる道～小説編」

「風と光と二十歳の私と」、「石の思い」や「いずこへ」などの小説を題材に、今なお多くのファンを惹きつけてやまない安吾の魅力・生き様を探ります。

講師

フリーライター
本間 大樹さん

(いずれも13:00受付開始)

会場

新津地域学園 研修室201
(新潟市秋葉区新津東町2-5-6)

定員

会場受講、オンライン受講 各50人
(先着順で受付)

参加費

無料 (どなたでも参加できます。)

申込方法

8月19日(水)から各講座開催日の3日前までに

電話：0250-22-9666
(平日9:00～17:00まで)
または
インターネットから



主催：新津地区公民館 / 共催：阿賀浦コミュニティ協議会

講師紹介

9月19日(土)

いわた たかこ

第1回「初めての坂口安吾」 一般社団法人 安吾顕彰会 学芸員 岩田 多佳子さん

現・上越市に生まれる。大学卒業後、BSN美術館に入り、副館長 長谷川四郎氏の指導のもと、五十嵐俊明から始まる越後絵画史の調査研究に携わる。新津市石油の世界館、中野邸美術館を経て、2007年より新潟市芸術文化振興財団にて、坂口安吾顕彰事業に就く。2009年より2024年まで、「安吾 風の館」(旧市長公舎)にて、年3回、テーマごとの企画展を開催し、坂口安吾を多面的に紹介した。現在、一般社団法人安吾顕彰会所属。

10月3日(土)

ながた ゆきお

第2回「これが私の生きる道～評論編」 元 新潟日報編集委員 永田 幸男さん

新潟市出身。早稲田大学第一法学部卒。1968年新潟日報社入社。編集局報道部長などを経て2011年退職。2024年までに長岡技術科学大、新潟国際情報大の各非常勤講師。坂口安吾生誕祭実行委員会事務局長。著書に「新潟往来―旅人のまなざし」(新潟日報社)



11月7日(土)

ほんま たいき

第3回「これが私の生きる道～小説編」 フリーライター 本間 大樹さん

1963年、新潟市生まれ。大学を卒業後、東京の出版社で単行本や雑誌の企画・編集に携わる。2007年独立し、フリーの編集兼ライターとなる。2012年、Uターンして新潟市の実家に拠点を移しながら活動を続ける。現在、単行本の執筆、地方新聞の企画記事作成と共に、新潟市安吾の会に属し、読書会の担当として活動する。2024年9月、佐渡の郷土文化誌「Ikki」を創刊、あたたかな地域の可能性を探る。



◆ オンライン受講について

- ◇ オンライン会議用システム「Zoom」を使用して開催します。ご参加にあたっては、インターネット環境(Wi-Fi推奨)とスマートフォンやタブレット、パソコンなどの機器が必要です。インターネットの接続や関係するアプリケーション等の設定やかかる費用は各自でご対応、ご負担願います。
- ◇ 配信する映像、画像、テキスト、音声または関連資料などのコンテンツのすべて、または一部に関する著作権は、講演者、そのほか著作権者に帰属します。オンライン中の配信映像録画、撮影、音声の録音等はご遠慮ください。
- ◇ 参加決定者には、各講座開催日の前日までにメールでID、パスワード及び講座資料をお送りします。新津地区公民館からのメールが受信できるよう、下記ドメインのメール受信設定をお願いします。
「city.niigata.lg.jp」、「mugaika2.mugaika.jp」

会場案内図



坂口家墓所

主催・お問い合わせ

新潟市新津地区公民館

〒956-0816
新潟市秋葉区新津東町2-5-6
新津地域学園内

TEL : 0250-22-9666

FAX : 0250-22-9616

E-mail :
niitsu.co@city.niigata.lg.jp